



もりた真弓
(花見川区)

講演会や音楽会など文化行事を楽しむために ヒアリンググループの周知と 移動型ループの導入を

高齢者の聞こえづらさは、5人に1人と言われています。広い会場では補聴器に雑音が入り、音声が入り、音が正しく聞き取れません。ヒアリンググループの利用で、講演会や音楽会などの文化行事を誰もが楽しみ、享受することができるため、習志野市や京都市などでは積極的に取り組んでいます。市はヒアリンググループについて「他市の導入状況や利用状況などについて調査・研究」と答弁しました。

ヒアリンググループとは難聴者の聞こえを支援する設備で、ループアンテナ内で誘導磁界を発生させることで、音声磁場をつくります。



難聴者の“聞こえ”をサポートします。

日本古来の農耕文化に触れ、農業振興・市内農業の発展につなげるために、 千葉市ふるさと農園のさらなる活用と、施設の修繕を



茅葺屋根の古民家



水車小屋

昔懐かしい茅葺屋根の古民家や、水車小屋のある田園風景を楽しめるふるさと農園。来年度、施設のあり方を検討し「民間のアイデアを取り入れ、集客力をより一層高め」引き続き「農とふれあう機会の充実を図り、農林業の振興に寄与する施設として活用」とのことです。老朽化した施設の改修を千葉市が行ない、地域の貴重な資源と今ある魅力を活かした取り組みを求めました。

身近な行政の窓口、連絡所の存続を

市は資産の総合評価を行い、市内施設の老朽化や利用率を理由に、長作連絡所・こてはし台連絡所等を「見直し・廃止」とする方針です。マイナンバーカードで各種証明書のコンビニ交付が可能となっても、利用者は限られています。行政の窓口を、交通不便な高齢化した地域から無くことは許せません。

もりた真弓議員は、連絡所の「見直し・廃止」は撤回をするよう求めました。



資産評価で統廃合の対象となっている長作連絡所



資産評価で統廃合の対象となっているこてはし台連絡所

花見川サイクリングコース をより安全に

四季折々の自然に親しむことができる花見川。ロードバイクなどの利用も増え、歩行者や自転車とのトラブルや事故が起きています。

安全な利用のために、市ではルールの検討と合わせて、舗装の幅を広げることを河川管理者の県と相談すると答弁。

もりた真弓議員は、夜間や雨で見通しの悪い時の対策として、ソーラー式の街灯設置も求めました。

花見川サイクリングロードのロードバイク置き場を調査するもりた議員と寺尾さとし県議



議会で取り上げた地域の要望が実現します

地域コミュニティの拠点として



積橋公民館と積橋市民センター

積橋公民館と積橋市民センターの複合施設がオープンし3か月。公民館の休館後、予定が早まり1年半後の10月に開館となりました。当初、駐車場不足が心配されましたが、近隣のご協力により職員用駐車場を別に設けられ、両施設ともご利用いただいています。

跡施設に新店舗オープン



跡施設に新店舗(さつきが丘)

10月末で閉店となったさつきが丘小売市場。駐車場の閉鎖やバス停の自動販売機撤去で閑散としています。先日、跡施設に新たに新店舗の「近日オープン！」の貼り紙が出されました。地元の商店は地域を支える元気の源です。新しい店舗の開店が待たれます。

歩道と自転車走行空間の整備がされます



鷹の台ゴルフ場脇道路拡幅

柏井高校から京成大和田駅に向かう道路。鷹の台ゴルフ場の樹木を伐採し、道路の拡幅を予定しています。小学生・中学生・高校生の通学路であり、自動車の往来も多い区間です。安全対策が望まれていました。千葉市に引き渡し後、2年ほど雨水管整備を行ない、2019年度から道路建設に着手予定との事です。

道路を広げる工事を行っています



横戸町23号線拡幅

車のすれ違いに支障のある横戸町23号線の拡幅工事が進みます。2017年4月からは「花まる号」の運行も始まりました。車の通行量が増え「歩行者や自転車での通行も危険」と指摘され、「1日も早い拡幅を」と望まれている場所です。工事中は迂回路の利用等ご協力をお願いいたします。

市営住宅の建てかえ工事進む



宮野木町第2団地

宮野木町第2団地は、完成間近。3階建てエレベーター付きで、車椅子対応の居室が複数ある建物になります。バス通り沿いで買い物や交通の便が良く、入居希望が多いことが予測されます。良好な環境の低価格の住宅はまだ必要です。

ゲリラ豪雨に備えた浸水対策進む



三角町千種町雨水浸透ます整備

千葉工業大学グラウンド脇では、雨水浸透ますの設置工事が行なわれています。過去に台風の浸水被害を受け、毎年工区を決め進めてきました。積橋中学校交差点方面へ向けあと2工区分の工事が予定されています。

子どもたちの安全のために 保育所の危険な遊具の交換を

12月議会に「使用を停止している著しく危険な遊具」がある数か所の保育所のうち、2か所の保育所の遊具を民間からの寄付金で再整備する予算が計上されました。党市議団は、市は「危険な遊具を再整備する予算もない」としているのに、競輪場と公園体育館の新設など約100億円もの多額の支出をやめて、子どもたちの安全を最優先するように求めました。



使用停止になっていた保育所遊具